

塩田地域協議会会議録（第6回）

日 時 平成19年3月15日（木） 午後7時から8時27分

場 所 転作促進研修センター2階会議室

出席委員 大口委員、岡村委員、工藤委員、小山委員、佐藤委員、中沢委員、西澤委員、平林委員、南委員、峯村委員、宮入委員、宮沢委員、若林悦郎委員、若林陽子委員、渡辺委員（15名、欠席委員：5名）

市側出席者 甲田塩田地域自治センター長、中沢商工課長、関農林課課長補佐、塩田地域自治センター庶務企画係長

傍聴者・報道機関 なし

1 開 会（塩田地域自治センター長）

2 会長あいさつ（大口会長）

今日は目一杯行事があり、昼間の地域協議会委員研修会に参加したが良い内容だった。1月26日以来の協議会ということだが、地域まちづくり方針については2月9日の日に市長に対し答申を済ませたところ。塩田も最終的に7項目とし、7項目では足りないかもしれないが、皆様のご協力で無事答申することができたことを感謝申し上げる。

3 会議事項（進行：会長）

（1）合併協定書（合併協定項目）の合意事項の変更について（報告）

（会長）早速会議事項に入っていきたい。まずセンター長から。

（塩田センター長）資料により説明

（会長）次に商工課から説明を。

（商工課長）資料により説明

（会長）質問は全部終わってからの方がいいですか？

（塩田センター長）そのようにお願いします。

（農林課長補佐）資料により説明

（会長）今、合意事項の変更について説明があったが、質問があればお出しいただきたい。

（委員）商工の補助金に関して、今の説明内容は決定事項か、ここで議論して変更できるのか？

（委員）同じく、なぜ22年度なのか。

（商工課長）報告ということでご理解いただきたい。団体については県の方で22年度までに団体統合の方針が出ている。早く結論を出すと補助金も有利で、それ以降は補助金は大幅に削減される。県の補助金は人件費補助で、市の補助金は団

体・イベント等の補助となっている。

(会長) 県は全て人件費、毎年200万円ずつ減っていく。

(商工課長) 小さい団体は存続できない。

(農林課長補佐) 水田農業は3年ずつの区分、新制度は19～22年度まで。一番の心配は減反達成できないと大きく減らされること。減反の仕方は地域で異なるので、3年間で近づけていきたい。

(会長) 今説明あったがあくまで報告ということで。

(委員) 教えてください。上田と丸子を比べて、丸子が多い理由は。

(商工課長) 上田市は人件費補助がなく、全て県の補助となっている。会議所と商工会の役割ややっていることが大きく異なっている。諸事情や行政との関係も異なっている状況がある。

(会長) 最終的に一本化するのか。

(商工課長) 理想は一本化だが、例えば、武石の商工会がどうなるのかということもある。また、段階的統合の話も出ている。

(会長) そういう意味で22年度までのびたということ。

(商工課長) この問題は市が主体的にやるべきものでなく、県の補助金の肩代わりは市はできない、住民理解を得るのは難しい。

(会長) ほかになければ次の議題にいきたい。

(2) 地域まちづくり方針答申一覧(全地域)について(報告)

(会長) 共通課題は連携をとっていくことで、速く実現する可能性がある。

(委員) 質問ですが、絞っていくと同じような内容でまとまる場所があるが、これについては総合計画の中で一本化していくのか。

(センター長) まちづくり方針は地域の課題として位置付けていくもの。それ以外の内容については新市として計画して行くことになる。

(委員) 総合計画が一次ということは二次もあるということ。

(センター長) 基本計画は10年間で考えている。旧上田市の場合は三次までであった。

(委員) 5年で時代が目まぐるしく変化している。ガラリと変わることもありうるのか。

(センター長) それはありうる。情勢で見直しを行っていく。

(会長) 皆さんよく読んでいただくようお願いしたい。

(委員) 今日の研修の長野大学の先生の話の中でも、これからは行政との協働でしかない。これまでの対行政ではなく、地域の中で協働で行っていく必要がある。

(3) 今後の協議事項等について

(塩田センター長) 地域協議会はこれからが本番である。まちづくり方針の具体化をしていくのがこれからの課題。その辺について皆さんのご意見をお聞きしたい。自治センター建替えの件については方針の一番目となっているが、今、レイアウトについて具体的図面等で検討している。それを受けて次回の協議会にお諮りしたい。他の項目についてはご議論をいただきたい。

(会長) 今日は自由意見ということでお出しいただきたい。自治センターは次回に原案

- をお示しするということで、変更はできるものなのか。
- (センター長) もちろんです。
- (会長) 7つの方針を元にして議論していきたい。
- (委員) この7項目は実施する項目に入るのかどうか。
- (センター長) 5年間の目標として基本計画に載ってくる。実施計画に載せるには具体的にしておく必要がある。9月議会に上程する予定である。
- (会長) ある程度重点的にやっていく必要もある。
- (委員) 7項目全部出していくとぼやけてきてしまう。ある程度問題点を絞って、より具体化されるようにしたほうが良い。
- (委員) 順位は必要だが、各地域の項目で連携でき、それがなくなると絞り込みしやすくなる。
- (センター長) 連絡協議会の中で協議することも出てくると思われる。未だできていないが方向付けしていく必要がある。
- (会長) 塩田として独自に出していく方が良いということもある。
- (委員) 項目を絞れば、他の項目が実施計画に近づくのではないか。
- (会長) 自治振興課の方とも協議したい。
- (委員) 自治会の連合会長をやった6年間でいたのが緑農ゾーンの件だが、解決がつかないでいる。身近なところでは、看板を何とかできないか。塩田らしい、統一したものを掲げ、無駄な物もあるので整理したらどうか。自治会としては懸案事項について解決の糸口をつけられればと考えている。
- (委員) 松くい虫の件が気になる。真っ赤になって手におえないのではないか。
- (委員) 行政と地域の役割分担、棲み分けを具体的に進めていくのは大きな問題である。この協議会がどこまでやって行くのか。関係団体巻き込む方策について煮詰める機会が必要である。
- (会長) 他団体との連携が必要との話もあったが、具体的にやるために絞っていかないといけない。
- (委員) 共通項目を抜き出す必要があるのでは。その次に障害、ネックになるものを拾い出さないと。そういうことを次回にどうでしょうか。
- (センター長) 先ほど棲み分けという話があったが。
- (委員) 具体的に進める人がいないとどうにもならない。
- (委員) センターが一番の課題として出している。声が出されていたと思うが、中学校改築での意見集約など、今回はそういうことのまとめをしていったらどうか、今回はそれを重点にして。
- (会長) 次回いろんな意見を出していただきたい。
- (委員) まとめる部分はまとめていく感じでやった方が良い。次回の件はそれで良いと思います。
- (委員) 次回はセンターの件を重点にして、自由な観点で、自由な意見を出す時間が必要。連絡協議会は重要なので、その内容については各委員に還元して欲しい。
- (会長) 連絡会を開くように自治振興課に要望したい。
- (委員) センターについてはどの辺のところまでできているのか。
- (センター長) 事務レベルで検討しているが、いろんな案がある。
- (委員) 以前の振興会、自治連で作った設計の取扱いは。
- (センター長) それについては白紙に戻していただきたい。

(委員)センターの件については、別所小跡地への建物とバッチングしていた経過がある。この協議会で全て決めるわけにはいかないもの。いろんな意見を集めてくる必要がある。

(委員)今は当然の話。協議会だけで決まる話ではない。協議や意見を集約する手立てをどうするのかを話し合うことが必要

(センター長)設計ということなく構想の案ということをお願いしたい。

(委員)構想の中で修正も必要。7項目の中に項目があるので、安井教授に来てもらうとか、勉強会も必要。自治会、議員も巻き込んで、そういう人たちが入ったうえで内容を決めていく必要がある。別にセンター改築検討委員会的なものを作っていくのはどうか。

(センター長)それはここで協議していただければ。

(委員)それでは、ここに自治会長とか女性部とか寄ってもらって決めていけばよいということだね。

(委員)なるべく多く意見を聞いて、最終的にはここで決めていけばよいのではないか。

(委員)この自治センターなんです、いったいいつ頃できるのか。

(センター長)それははっきりわからない。

(委員)小学校も振興会とかで一生懸命やってあれほど時間がかかった。そして次に中学校がやっと改築になった。私の直感ではもう少し先にいってしまう感じがする。次回検討するのは結構、検討は検討だけれども、実現性が低い気がする。

(委員)これは推進していかなければできない、はっきり言って。

(会長)順番から言うと塩田の方が早い、川西よりも。現実的に支所は(建物)全然だめですから。

(委員)私は、合併すると特例債ですぐできると喜んでいたが。

(会長)次回はセンターのことを重点にやるということで考えていきたい。他に何かあれば。

(委員)困ったことだが、この中にも景観のことが色々出てくるが、バイパスの所に看板がいろいろできてくる。それを、大きさをどうするかとか、それをどっかでやらないと、地域の皆さんの責任になってしまう。そこらへんのところで塩田地域で何か有っていいと思う。

(会長)それも次回以降で。一番目にセンターの件をやってから。

(委員)センターの件で、設計の一手手前ということであればもう段取りはできていると考えてよいと思うが。

(会長)私も、局長に聞いたりしてそう思っている。

(3) その他

(会長)それではその他で、センター長から。

(センター長)会議事項のその他ということですが、確認ですが、議事録をホームページに掲載するが、その時に発言委員さんのお名前を来年度から載せていくということで前回確認いただきましたので、その方向付けでいきたいので確認をお願いします。

(会長)今まで全然名前入っていないが、4月からは名前が入るということをお願いしたい。

4 その他

(会長) 会議事項は以上で終わり、4のその他についてセンター長から。

(センター長) 事務連絡で、団体推薦の委員さんがおられますが、この3月末で任期が切れるという方もおられると思います。あて職、長という形のなかで出てきていただいている方については代わられるということもあると思います。今聞いているのは健康推進委員さんお二人代わられるということですので、その場合は様式ございますので、事務的に対応をお願いいたします。申し訳ないですが、後の方については残任期間ということで、その点についても現委員さんの方で手配をお願いいたします。それと全て退任ということでなく団体に残られる場合にはできるだけ任期までということによろしくをお願いいたします。

・次回会議日程について

4月20日(金) 午後7時からに決定 会場は確認後連絡

(会長) あとその他に委員さんの方から何かありますか。ありませんか。皆さんの熱心な議論ありがとうございました。これから地域にとって重要な会議を重ねていくわけですが、地域のことも良く知っていただいて、また体調管理にも十分気をつけていただきたい。この会議は塩田の重要な皆さんによる会議ですので。次回は新センターを重点的に、その他も含め活発に議論いただきたい。今日は本当にご苦労様でした。